

## これからも ともに歩む ～ 震災復興から地域活性化へ ～

株式会社八葉水産様は、気仙沼市を代表する水産加工食品の製造販売業者です。2011年3月の東日本大震災の津波により、生産設備が全壊するなど大きな被害を受けました。

仙台銀行は、復興の各段階において様々な支援を行ってきました。



八葉水産様▲

### Point 1 設備復旧と販路回復・拡大支援

仙台銀行をはじめとした金融機関からの資金調達等により、同社は生産設備の復旧を果たし、気仙沼地域ではいち早く事業を再開しました。

当行は、商談会や販売会のサポートを通じて販路回復・拡大を支援しました。



販売会では当行職員も店頭に立ち、商品をPRしました。

### Point 2 二重ローン対策支援

同社は、震災前からの金融債務も抱えており、事業継続において二重債務の解消が課題となっておりました。このため、東日本大震災事業者再生支援機構に支援の相談を行い、抜本的な事業再生に取り組むため、2017年、機構からの債権買取りによる支援を受けました。

### Point 3 リファイナンス

当行は、機構の支援実施後も、経営改善状況をモニタリングするとともに、経営再建に向けた本業支援に継続して取り組み、事業再生をサポートしました。

同社の経営努力により、業績の改善が図られたことから、2020年6月、当行は機構債権のリファイナンス資金融資を実施しました。

### Point 4 中期経営計画策定支援

同社は更なる発展のため、被災した本社工場を冷蔵倉庫として再建する計画を策定しました。当行は中期経営計画の策定支援を通じて、同社の計画実現と経営発展を全面的にバックアップしました。

当行は、計画の実施状況を見守りながら、これからもコンサルティング機能を発揮し、ともに地域活性化に取り組んでまいります。

震災後、「全てにおいて支援しますから、復旧し再建しましょう」と言われたことがどれほど力になったでしょうか。一緒に再建を進めていただき、1年後には商品生産体制が整いました。山形や宇都宮での販売会、仙台駅の物産展、また東京での展示会も販促等の応援をいただきました。被災企業、被災地域、被災した皆さん、この10年本当に大変でした。地域と社会を支えるうえで、金融は重要なキーパーソンです。

これからの変化の時代で、仙台銀行さんには、じもとに密着し、地域と我々の金融支援のみならず、地域のデザインと企業の経営のパートナーとして大きな役割をお願いいたします。



株式会社八葉水産  
代表取締役 清水 敏也 様

#### 支店長の声

震災後、経営再建に向けた事業再生にとともに取り組み、様々な苦難を乗り越えながら着実に成果を上げられた、まさに震災復興のシンボル企業です。今後も本部・営業店一体となった「本業支援」を発揮し、被災地金融機関としての役割を果たしていく所存です。

▲左：清水代表取締役  
右：小山支店長

気仙沼支店 小山 武夫 支店長

#### 地元企業応援部サポート室の声

同社の再生支援には本部・営業店が連携し、歴代関係者がそれぞれの思いを込めて対応してきました。震災から10年が経過しましたが、当行の「全てにおいて支援する」という姿勢に何ら変化はありません。今後の更なる発展期に向け、ともに歩んでまいります。

